

5 税は大切なもの

● 税金は、社会を支えるために必要なお金です

わたしたちが納めた税金は、社会保障のため（子ども・子育て、医療、介護、年金）、安全を守るため（警察・消防など）、快適なくらしのため（道路の整備・ごみの収集）などみんなのために役立つ活動に使われています。また、災害からの復旧や復興のためにも使われています。

税金は、わたしたちが豊かで安全に安心してくらししていくために、なくてはならないものなのです。



もしも税金がなかったら、どんなことに困ると思いますか。
下の絵は、税金がなくなってしまった世界です。
どのように困っているのかを、みんなで話し合みましょう。



他にどんなことが困るかな。
考えてみましょう。



こくぜいちよう
国税庁ホームページ 税の学習コーナー ビデオライブラリー
「マリンとヤマト 不思議な日曜日」より。

パソコン・スマートフォンから

国税庁 マリンとヤマト

検索



● 納税は国民の義務

日本国憲法では、「納税の義務」を定めています。

この「納税の義務」は、「子どもに普通教育を受けさせる義務」、「勤労の義務」とならんで「国民の三大義務」の一つとされています。

日本国憲法第30条
「国民は、法律の定めるところにより、納税の義務を負う。」

● みんなで考えようこれからのこと

日本では、生まれてくる赤ちゃんの数が年々少なくなっています。一方、65歳以上の高齢者の数は増えています。

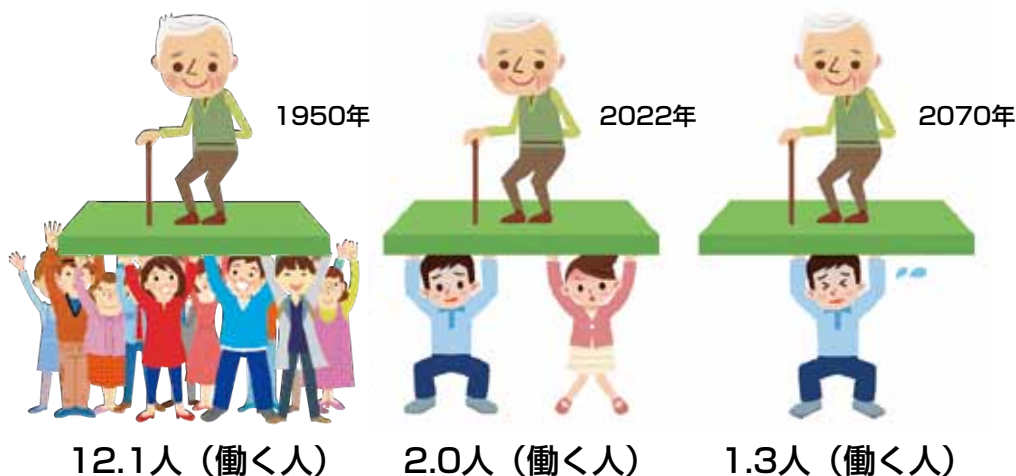
そうすると、人口に占める高齢者の割合が増え、反対に若い働く世代の割合が少なくなっていく。

このような社会を「少子高齢社会」といいます。

高齢者が増えると医療や介護、年金などに必要なお金が増えるので、今までの税金のしくみでは、これまでのようにわたしたちの暮らしを支えることが難しくなっていきます。

これからの日本は、時代にあった税金の使いみちや負担の仕方をみんなで考えていく必要があります。

◆ 高齢者一人を支える働く人たちの人数の推移



内閣府「令和5年度版高齢社会白書」より

最後にまとめだよ。税金クイズに挑戦してみよう！



1 税金はだれが納めるのかな？	2 税金はどんなことに使われているのかな？
① 国民みんな	① みんなの健康や暮らしを守るため
② 働いている人	② 災害からの復旧・復興のため
③ お金持ち	③ 暮らしやすいまちづくりのため
答え []	答え []

答えは裏表紙を見てね。